



なでしこ会議活動報告

第15回

「女性のための省エネセミナー」 横浜・八景島シーパラダイスSDGsツアー

(主催ノ一般社団法人日本ビルエネルギー総合管理技術協会)

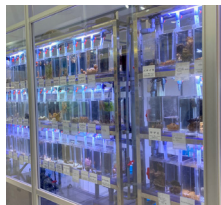
2023年10月2日(月)第15回「女性のための省エネセミナー」が開催され、横浜・八景島シーパラダイスにてSDGsツアー及び情報交換会が行われました。今回はビル事業本部より若菜・岡本が参加しましたのでご報告します。



横浜・八景島シーパラダイス(以下シーパラ)では、SDGsの17個ある目標のうち、特に「14. 海の豊かさを守ろう」に力を入れて取り組んでおり、当日は、アクアリウムとバックヤードを見学しながら、シーパラの職員様よりSDGsの取り組みや生物多様性について解説いただきました。

「身近な海の生きもの研究所」見学

「身近な海の生きもの研究所」は、生物が形作られることの解明や進化の道筋の研究を行う「東京大学三崎臨海実験所」との共同の取り組みを「研究室」に見立てた展示で紹介しているスペースです。



海藻やロープの表面に付着するエビの仲間や砂の中に潜む多毛類の生きものなどなかなか取り上げられることのない小さな生きものたちが展示されており、その生きものたちが持つ能力や不思議さを感じることができる興味深い施設になっています。

未利用魚の活用

未利用魚とは、大きさが不揃い、漁獲量が安定しない、調理に手間がかかる等の理由で市場に出回らない魚のことで、シーパラでは水族館で飼育する生きものの餌として利用、また、来館者への販売を行っています。



アオウミガメに給餌体験

アオウミガメは草食で、野生下ではワカメなどの藻類を食べますが、シーパラでは用意の難しい藻類に代わり、キャベツやレタスなどの野菜を与えています。これにより、生きものがより豊かに暮らせるそうです。



ツアー参加者集合写真

その他、地球温暖化防止の取り組みで、二酸化炭素を吸収してくれるワカメを育成したり、水族館エリアで使用する全電力を再生可能なエネルギーに由来する実質CO2排出ゼロの電力「はまっこ電気」を導入するなどして、持続可能な新しい水族館のカタチを目指しています。

※「はまっこ電気」…東京電力エナジーパートナー株式会社が横浜市内の事業者に向けて提供する環境価値を有する電力のこと。横浜市が保有する焼却工場のバイオマス発電由来の環境価値や、横浜市内の家庭で作られた太陽光発電由来の環境価値を活用することで、電力の使用に伴うCO2排出量を実質ゼロにするもの。

情報交換会では、4~5人グループに分かれてそれぞれ自由なテーマで話し合いが行われました。私のグループでは、BM業界を志望した動機や抱えている悩み、ストレス発散法、休日の過ごし方などについて話題が上がり、活発に意見交換がされました。

ある会社の社員の方(入社4年目、清掃業務に従事)は「普段は現場で働いているので決まった人しか話さないが、省エネセミナーで他社の女性社員と話す機会をもらえて良い気分転換になっている。セミナーでの講習も新たな知識を得ることができて面白い」とおっしゃっていました。

省エネセミナーは、各社若手社員(特に1~4年目)が多く参加されており、フランクに他社の女性社員と話ができるととても良い機会なので、現場に従事する女性社員の皆様もご興味があれば、ぜひ参加希望の旨を上司にお伝えいただくか、なでしこ会議までメールにてご連絡ください。

➡ なでしこ会議メールアドレス:
nadeshiko@kmix.co.jp